

平成26年度事業報告

本県の水と緑に恵まれた快適な環境を次世代に継承していくため、県民やNPO法人・団体、学校、企業、行政等との連携及び情報の共有化を図り、協働して環境保全活動の普及啓発に努めた。特に、県民一人ひとりに、CO₂の排出削減につながる実践的な行動を起こしていただくことを目指して各般の事業を展開した。

具体的には、環境とやま県民会議やみんなできれいにせんまいけ大作戦などの「県民運動等の推進」やNPO法人、企業、団体等が連携する「環境ネットワーク形成事業」等を実施する『協働推進事業』。

とやま環境チャレンジ10事業や自然解説事業など学校や地域社会等において環境に対する理解を深めるための『環境教育推進事業』。

環境フェアなどの啓発イベント等実施事業、ホームページやエコノワとやま等により情報発信をする『普及・啓発事業』。

地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）の活動支援、うちエコ診断事業、住宅用太陽光発電システム導入促進補助事業などを行う、『地球温暖化防止活動推進センター事業』など、幅広い事業を展開した。

また、環境経営マネジメントシステムを推進するため、『エコアクション21地域事務局事業』として、制度の普及啓発、認証・登録の促進を図った。

1. 協働推進事業

県民やNPO法人・団体、企業、行政等が幅広く連携し、環境保全活動を協働して展開する基盤として、環境ネットワークの形成とその拡大に努めた。

(1) 県民運動等の推進

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民・企業・行政が一体となった県民総ぐるみの運動を展開した。

ア 環境とやま県民会議総会の開催

循環型・低炭素社会の構築をめざし、県民、事業者、報道機関、行政等の協力のもと、県民総ぐるみでエコライフスタイルを積極的に推進するため、環境とやま県民会議総会を開催した。

- ・ 開催日 平成26年6月22日（日）（環境月間期間中）
- ・ 開催場所 グランドプラザ
- ・ 出席者 構成団体 約90名
- ・ 内容 活動方針の報告、環境部門功労者・環境月間ポスターの表彰、「とやまエコ・ストア制度」統一シンボルマークキャラクター愛称発表・表彰等

イ 富山県県土美化推進県民会議総会の開催

県民総ぐるみの「県土美化推進運動」を展開し、うるおいとやすらぎのある住みよい郷土をつくるため、富山県県土美化推進県民会議総会を開催した。

- ・ 開催日 平成26年4月22日（火）
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 出席者 構成団体 約50名
- ・ 内容 活動報告、活動方針の決定、県土美化推進功労者の表彰等

ウ 富山県ごみゼロ推進県民大会の開催

ごみゼロ・リサイクル推進の普及・発展を図るため、富山県ごみゼロ推進県民大会を開催した。

- ・ 開催日 平成26年10月4日(土)(3R推進月間期間中)
- ・ 開催場所 「とやま環境フェア2014」会場
- ・ 参加者 一般県民等 約150名
- ・ 内容 功労者表彰(とやまエコ・ストア制度に関する活動を追加)、ごみゼロ推進大運動の実施状況報告等

エ 「みんなできれいにせんまいけ大作戦」の展開

富山県の貴重な財産である美しい海岸を保全するため、県民、事業者、行政が連携して海岸美化活動を実施するとともに、啓発イベントを開催した。

① 活動支援、普及啓発の実施

- ・ キャンペーン期間 平成26年6月1日～9月30日
- ・ 県下一斉統一行動日 平成26年7月6日
- ・ 参加者 県民、事業者、行政等 40,042名
- ・ 内容 沿岸市町及び上流エリアの市町村・関係団体等と連携して海岸の清掃美化活動を行う際の活動支援及び普及啓発の実施(資材提供、チラシの配布等)

② 啓発イベントの開催

- ・ 開催日 平成26年7月19日(土)
- ・ 開催場所 魚津市経田海岸(片貝川河口)
- ・ 参加者 約500名
- ・ 内容 清掃活動、啓発イベント(稚魚の放流等)の実施

<15市町村の活動概要>

市町村名	実施日	活動地域	参加者数	ごみ回収量
朝日町	7月13日(日)他	町内全域	4,276名	可燃ごみ 1,830kg 不燃ごみ 670kg
入善町	7月6日(日)他	町内全域	9,344名	可燃ごみ 10,000kg
黒部市	7月6日(日)	荒俣海岸一帯	500名	可燃ごみ 収集車4台 不燃ごみ 収集車3台
魚津市	7月19日(土)～ 7月27日(日)	経田海岸	700名	可燃ごみ 220袋 不燃ごみ 220袋
	7月27日(日)～ 8月10日(日)	鴨川流域	400名	(集計データなし)
滑川市	7月27日(日)	高塚海岸～荒俣～笠木～ 吉浦～三ヶ海岸	約300名	可燃ごみ 20kg 不燃ごみ 55kg
上市町	6月15日(日)	町内全域	約770名	報告なし
立山町	7月13日(日)	利田地区常願寺川公園 周辺	約100名	可燃ごみ 90L 6袋 不燃ごみ 70L 1袋 ビン 45L 2袋 缶 90L 2袋
舟橋村	8月3日(日)	村内全域	約500名	可燃ごみ 3,500kg 不燃ごみ 100kg

富山市	7月6日(日)	富山市海岸一帯 (打出から水橋朝日町まで)	約5,000名	ごみ合計	20,700kg
射水市	7月6日(日)	六渡寺・海老江・本江の 海岸	2,085名	可燃ごみ 不燃ごみ	6,100kg
高岡市	7月6日(日)	国分浜一帯 雨晴海岸一帯 他	3,000名	可燃ごみ 不燃ごみ	10,000kg 300kg
氷見市	7月6日(日)	市内全域の海岸・道路・ 河川・公園・公共施設 周辺	12,000名	可燃ごみ 不燃ごみ	7,850kg 1,310kg
砺波市	6月7日(土)、8日(日)	庄川観光祭会場周辺及び 河川敷	100名	可燃ごみ 不燃ごみ	400kg
南砺市	5月30日(金)～ 6月30日(月)	市内全域	847名	報告なし	
小矢部市	6月22日(日) 8月24日(日)	小矢部川河川公園及び 小矢部川護岸堤防	120名	可燃ごみ	100袋
合 計	参加者数：40,042名 回収量(可燃ごみ、不燃ごみ合算)：62,835kg、ごみ袋551袋、収集車7台				

⑧ オ 地域団体による清掃美化活動推進事業（新幹線開業！ピカピカとやま一斉清掃運動）

新幹線開業に向け、県内団体等が駅や観光地等を中心に行う清掃美化活動の運営支援及び普及啓発を実施するとともに、啓発イベントを開催した。

① 活動支援、普及啓発

- ・ キャンペーン期間 平成26年10月1日～12月末
- ・ 参加者 県民、事業者、行政等 42,032名
- ・ 内 容 県内各市町村及び地域団体と連携して、県内の清掃美化活動を行う際の活動の支援及び普及啓発の実施
(資材提供、チラシ、ポスター、缶バッチの配布、のぼり旗・横断幕の貸出し)

② 啓発イベントの開催

- ・ 開催日 平成26年10月4日(土)
- ・ 場 所 高岡テクノドーム及び新高岡駅周辺
- ・ 参加者 約200名
- ・ 内 容 活動推進宣言、清掃活動の実施

<活動状況>

実施件数	参加人数	ごみ収集量
151件	42,032名	約79t

<啓発資材貸出状況>

区分	使用団体数	使用(貸出)数
のぼり旗(貸出)	63団体	214枚
横断幕(貸出)	40団体	43枚

(2) 環境ネットワーク形成事業

「エコノワとやま」を活用するとともに、県民、NPO法人、企業、行政等と連携した環境保全活動主体のネットワーク化や事業の協働化に取り組んだ。

ア 企業等環境保全活動支援事業の推進

企業とNPO法人等の連携・協力を推進するため交流会を開催するとともに、環境保全意識の高揚、知識の普及啓発及び将来の指導者育成を図るため、学校、団体等の要請に応じ、環境保全活動の専門家や推進員などを講師として派遣した。

① 企業とNPO法人等の交流会の開催

- ・ 開催日 平成27年3月4日(水)
- ・ 開催場所 富山駅前CICビル周辺、パレブラン高志会館
- ・ 参加者 企業等の環境部門の実務責任者等
約150名(清掃活動)
約100名(講演会)
約40名(情報交換会)
- ・ 内容 清掃活動、講演会・情報交換会の開催

② 出前講座の実施

- ・ 実施回数：7回
- ・ 受講者数：363名

イ 市町村との環境パートナーシップ事業の推進

市町村とのパートナーシップを形成し、環境保全活動における連携・協力を推進するため、市町村との連絡調整の会議を開催するとともに、10市のエコライフ・イベントを支援した。

① 市町村環境政策担当課長会議の開催

- ・ 開催日 平成26年11月18日(火)
- ・ 開催場所 富山県森林水産会館
- ・ 出席者 県内市町村環境政策担当課長等
- ・ 内容 市町村とのパートナーシップ事業はじめ財団事業・県の環境関連施策について説明、市町村の重点施策等について情報交換

② エコライフ・イベントへの支援と参加

- ・ 実施時期 4月～3月
- ・ 実施場所 県内10市のエコライフ・イベント等
- ・ 参加者数 約31,000名
- ・ 内容 エコライフ・イベント等への出展、協力又は支援

ウ 豊かな地下水保全事業

本県の豊かで清らかな地下水を県民共有の貴重な財産として、将来にわたり守り育てていくため、消雪設備の節水や名水・湧水の保全などに積極的に取り組む人を「地下水の守り人」として養成、登録した。

また、地下水の守り人による活動報告会を開催し、活動報告や課題の把握、守り人相互の連携強化、活動の充実・拡大を図った。

- ① 養成講座の開催及び守り人の登録
 - ・ 開催回数 3回
 - ・ 開催内容 地下水保全に係る環境政策、研究等の講義及び現地視察
 - ・ 地下水の守り人登録者数 54名（既存63名 計117名）
- ② 活動報告会（交流会）
 - ・ 開催日 平成27年2月25日（水）
 - ・ 開催場所 富山県教育文化会館 集会室
 - ・ 参加者数 32名
 - ・ 内 容 活動報告書の概要説明、事例発表、意見交換会の実施

⑧ エ みんなで川を見守り隊事業

見守り隊隊員及び地域住民等との協働による川の見守り活動を通じ、地域の魅力を発掘するとともに、新幹線開業を契機として、その取組みを県内外に広く情報発信した。

- ① 川の見守り隊活動の実施
 - ・ 開催回数 5回
 - ・ 開催場所 県内5河川
 - ・ 参加者数 とやま川の見守り隊隊員、小中学生及び保護者等 約200名
 - ・ 内 容 川の健やかさしらべ、水生生物調査、清掃活動の実施
- ② 黒部川扇状地湧水群めぐりの実施
 - ・ 開催日 平成26年9月14日（日）
 - ・ 開催場所 黒部市、入善町等
 - ・ 参加者数 日本大学学生17名等県内外観光客等 29名
 - ・ 内 容 とやまの名水、水環境施設の見学、黒部川河口における川の健やかさ調査の実施及び富山の水環境のPR
- ③ とやま水環境談義の開催
 - ・ 開催日 平成26年11月15日（土）
 - ・ 開催場所 高岡山瑞龍寺
 - ・ 参加者数 水環境保全活動団体等 約120名
 - ・ 内 容 富山の水環境及び情報発信に係るパネルディスカッション
- ④ 首都圏等への情報発信等の実施
 - ・ 内 容 啓発資材の作成（リーフレット、ビニールバッグの作成）、PR活動の実施（アンテナショップ（東京）、日本大学文理学部学園祭、全国大会等での啓発資材、とやまの名水の配布等）、おもてなし大使の登録（登録者数94名）

オ とやま川の健やかさ調査事業

(一財) 富山・水・文化の財団と連携して、夏休み期間に、県内の5河川において、水質、水生生物、水辺など川の健やかさを調査するとともに、水環境保全団体や小中学校等の環境保全活動を支援した。

- ・ 開催日 平成26年7月25日、8月5日、7日、11日、20日
- ・ 開催場所 黒部川、角川、常願寺川、清水川、庄川
- ・ 内 容 川の健やかさしらべ、水生生物調査、清掃活動の実施

カ 環境保全に関する相談事業

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、ごみ減量化やリサイクル等に関する相談に応じるとともに、情報提供、活動支援及びこどもエコクラブの育成等を行った。

相談の件数及び相談者

個人	企業	団体	行政	教育機関	その他	計
105件	177件	8件	14件	15件	1件	320件

相談内容等

内 容	件数
財団の事業に関するもの	122件
環境保全団体・NPOに関するもの	5件
県、市町村の施策など行政に関するもの	2件
環境法令に関するもの	9件
住宅用太陽光発電システム補助に関するもの	171件
各種補助金（太陽光発電除く）	11件
計	320件

貸出件数及び貸出先

個人	企業	団体	行政	教育機関	報道機関	計
28	11	0	2	2	0	43件

貸出の内訳

区 分	貸出本(冊)数
ビデオ・DVD	43本

キ 環境保全活動助成事業

環境保全推進活動事業補助金により活動支援するものであるが、今年度は申請がなかった。

- ・ 補助対象事業 環境保全推進活動事業(普及啓発事業を含む。)
- ・ 補助率 1/3以内
- ・ 補助対象経費 活動に要する経費(ただし、参加費、販売収入は補助対象外)
- ・ 補助限度額 上限10万円/団体

ク 環境保全活動活性化事業（収益事業）

環境保全活動を活性化し、企業等の取組みを支援するため、「平成 26 年版環境関係法規の手引」を作成し、有償頒布した。

- ・ 頒布開始 平成 26 年 4 月
- ・ 頒布先 県内企業、団体等
- ・ 頒布部数 106 冊

ケ 行事等への後援・協賛事業

県、市町村、地域活動団体等が主催する行事等への後援・協賛を実施した。
参考資料 1 のとおり

コ 環境保全活動機材等の提供・貸出し

10 市が実施するイベントや推進員の活動に対し、資機材の提供、貸出しを実施した。

2. 環境教育推進事業

環境保全活動の継続と拡大を図るため、学校や地域社会で環境保全に対する理解を深め、取組意欲を高める環境教育を推進、支援する。

(1) とやま環境チャレンジ 10 事業

小学 4 年生を対象に、エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、小学校に推進員を講師として派遣し、「とやま環境チャレンジ10」を開催した。

- ・ 開催時期 5 月～12 月
- ・ 実施校数 県内全市町村 67 小学校
- ・ 参加者数 3,107 名
- ・ 内 容 推進員による授業（2 回）、児童・家族による地球温暖化防止のための取組みの実践（10 項目、4 週間）

(2) はじめてのエコライフ教室事業

幼児期から(家族ぐるみで)エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的に、幼稚園・保育所等に推進員を講師として派遣し、「はじめてのエコライフ教室」を開催した。

- ・ 開催時期 6 月～2 月
- ・ 実施園数 15 園
- ・ 参加者数 幼児 752 名、保護者 203 名
- ・ 内 容 省エネやごみ分別等のエコライフの説明、児童・家族によるエコライフの取組みの実践（3 項目、1 週間）

⑨ (3) かえっこバザール実施事業

「ごみの発生を抑制」「繰り返し使う」「資源として再利用する」3R の精神を小さいころから意識付けするため、遊ばなくなったり、使わなくなった「おもちゃ」等を物々交換し、物の大切さを学び体験する「かえっこバザール」を開催した。

- ・ 開催回数 2 回（富山市エコキッズフェスタ、とやま環境フェア 2014）

(4) 自然解説事業

自然保護意識の高揚を図るため、県内4地区にナチュラリストを配置するとともに、ナチュラリストの活動支援を実施した。

ア ナチュラリストによる自然解説業務

自然保護意識の高揚を図るため、ねいの里、頼成の森、称名、立山地区（室堂、弥陀ヶ原）の県内4地区に自然解説員(ナチュラリスト)を配置し、自然解説を実施した。また、活動業務打合せ会及び活動業務報告会を開催するとともに、ナチュラリストの資質向上及び支援を目的とした研修会を開催した。

<自然解説>

- ・ 配置期間 平成26年4月26日～11月3日
- ・ 配置人数 502名

配置場所及び人数一覧表

区 分	ねいの里	頼成の森	称名 地区	立山地区		計
				室堂平	弥陀ヶ原	
配置人数	68名	64名	63名	191名 (561名)	116名 (339名)	502名 (1095名)

注) 表中の()は、配置延べ人数。

<活動業務打合せ会及び業務報告会>

① 活動業務打合せ会

- ・ 開催日 平成26年4月12日(土)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 参加者 125名

② 活動業務報告会

- ・ 開催日 平成27年1月24日(土)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 福祉ホール
- ・ 参加者 126名

<研修会>

- ・ 開催回数 3回(県内及び県外(現地研修))
- ・ 参加者数 291名
- ・ 内 容 講演会、現地研修

①イ ナチュラリスト・ロングコース試行事業

立山地区における新たな自然解説ロングコースを設定するため、現地下見会及び試行、設定に関する検討会を実施した。

① ナチュラリストロングコース試行下見会

- ・ 実施日 平成26年7月19日(土)
- ・ 参加者 51名
- ・ 内 容 立山弥陀ヶ原及び室堂での新コースの下見

② ナチュラリストロングコース試行

- ・ 実施期間 平成26年7月20日～10月19日
- ・ 試行人数 17名
- ・ 試行回数 20回

③ ロングコース検討会

- ・ 実施日 平成26年11月15日(土)
- ・ 開催場所 サンシップとやま 704
- ・ 参加者 20名

ウ ナチュラリストバンク事業

中部山岳国立公園立山地区等に訪れる団体からの自然解説の要望に応ずるため、ナチュラリストを紹介した。

- ・ 紹介回数 5回

3. 普及・啓発事業

ホームページやメールマガジン、エコノワとやま、機関紙「きょうせい」等により、環境保全・地球温暖化防止活動の情報を発信、先駆的な取組みを実施している団体・企業等を紹介するとともに、新聞・テレビ・ラジオ等を通じて環境保全に関する普及啓発を行った。

また、講演会やイベント等を実施し、環境保全意識の高揚とエコライフの実践拡大を図った。

(1) 啓発イベント等実施事業

ア エコライフ・アクト大会の開催

「環境月間」の6月に、エコライフの実践に繋がるイベントとして開催した。

- ・ 開催日 平成26年6月22日(日)
- ・ 開催場所 富山市内 グランドプラザ
- ・ 参加者 一般県民等 約300名
- ・ 内容 環境部門功労者表彰、環境月間ポスター表彰・ポスター展示、活動方針報告、「とやまエコ・ストア制度」統一シンボルマークキャラクター愛称発表・表彰、こどもエコ活動事例発表、ルー大柴「私のMOTTAINAIアクション」トークショー

イ 「とやま環境フェア2014」の開催(富山県、高岡市、環境とやま県民会議と共催)

県民に循環型・低炭素社会づくりに向けた取組み事例を紹介するとともに、節電やエコライフについて楽しみながら見聞・体験するフェアを開催し、家庭等における実践拡大を図った。

- ・ 開催日 平成26年10月4日(土)、5日(日)
- ・ 開催場所 高岡テクノドーム(高岡産業創造センター)
- ・ 来場者数 一般県民等 約15,000名
- ・ 内容 ブース展及びステージイベント

<ブース展>

59企業・団体の出展により、地球温暖化対策、環境保全に対する取組み、エコライフ、3Rへの取組み等の紹介のほか、関連商品の展示・実演・体験、スタンプラリー、マイバッグ交換市、かえっこバザール等

<ステージイベント>

富山県ごみゼロ推進県民大会【再掲】、地元団体によるパフォーマンスやキャラクターショー ドラえもん、出展者による環境活動の紹介

ウ 富山県地球温暖化防止県民大会の開催

大会を通じて、地球温暖化防止に向け、県民一人ひとりがライフスタイルを見直すなどの具体的な行動を実践するよう促した。

- ・ 開催時期 平成26年12月6日(土)(地球温暖化防止月間期間中)
- ・ 場 所 パレブラン高志会館 カルチャーホール
- ・ 参加者 一般県民等 約160名
- ・ 内 容 地球温暖化対策推進功労者等表彰、活動事例発表、講演、地球温暖化防止イベント

エ 環境関連イベントへの出展・啓発

NPO法人や団体等が実施する環境関連イベントにおいて、地球温暖化防止の普及啓発活動を展開した。

① アースデイとやま

- ・ 開催日 平成26年5月18日(日)
- ・ 開催場所 富山市ファミリーパーク

② KNB大バザール

- ・ 開催日 平成26年7月6日(日)
- ・ 開催場所 KNB本社前特設会場等

(2) 環境保全・温暖化防止活動情報発信事業

ア ホームページによる情報提供

ホームページにより、財団事業の紹介、イベント案内、環境NPO法人リンク集など環境関連情報を発信した。

イ メールマガジン「とやまエコ通信」の配信

県民、NPO法人、企業、市町村等を対象に、財団の実施事業、環境関連イベント、エコアクション21関連情報を月1回配信した。

- ・ 配信回数 12回
- ・ 配信数 428件
- ・ 配信先 県民やNPO法人、企業、市町村等
- ・ 配信内容 当財団の実施事業、環境関連イベント、NPO法人・企業の活動紹介等

ウ 「エコノワとやま」による情報発信

県内のNPO法人等の環境保全活動に関する情報を集約・発信して環境保全活動を支援する参加型のホームページ「エコノワとやま」において、地道な活動の発掘など内容の充実を図るとともに、環境保全活動を行う企業とNPO法人・団体の相互の交流・協働の場に繋がるよう普及啓発に努めた。

- ・ エコノワ掲載団体数 131団体
(企業数：61 団体数：70)

エ (公財) とやま環境財団機関紙の発行

財団の事業内容、県内の環境活動団体の紹介、環境に関する情報提供を行うため、機関紙「きょうせい」を発行した。

- ・ 発行回数 年2回(8月、1月)
- ・ 発行部数 各2,500部
- ・ 配布先 県、市町村、出損企業、賛助会員、関係団体、病院等

4. 地球温暖化防止活動推進センター事業

富山県地球温暖化防止活動推進センターとして、地球温暖化防止活動アドバイザーを配置し、地球温暖化対策や省エネに関する相談窓口の設置及び温暖化防止の普及啓発、地球温暖化防止活動推進員の活動支援を行った。

また、希望される家庭へうちエコ診断士を派遣し、温室効果ガス削減に向けたオーダーメイド型省エネ提案を行う「うちエコ診断事業」を実施するなど地球温暖化防止の普及啓発を行った。

(1) 富山県地球温暖化防止活動連絡調整会議の開催

地域の関係主体との効果的な連携や連絡調整等を通じて、地球温暖化防止活動推進センターの運営や地球温暖化対策に関する各種事業を推進するため、富山県地球温暖化防止活動連絡調整会議を開催した。

① 第1回富山県地球温暖化防止活動連絡調整会議

- ・ 開催日 平成26年12月17日
- ・ 開催場所 サンシップとやま 604
- ・ 出席者 14名
- ・ 内容 平成26年度事業内容、平成27年度事業計画(案)

② 第2回富山県地球温暖化防止活動連絡調整会議

- ・ 開催日 平成27年2月24日
- ・ 開催場所 サンシップとやま 601
- ・ 出席者 14名
- ・ 内容 平成26年度事業実施結果、平成27年度事業計画(案)

(2) 地球温暖化防止活動アドバイザーの設置事業

地球温暖化防止に向けて、県民からの相談に対応するとともに、県民に対する普及啓発や指導助言、調査業務を行った。

(3) 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

県から委嘱した地球温暖化防止活動推進員に対して、研修会を開催するとともに、情報提供や資材・資料の提供等を通じて、活動を支援した。

<推進員研修>

- ・ 開催回数 4回
- ・ 参加者数 95名
- ・ 内容 チャレンジ10事業の説明、講演、現地研修等

(4) 地域活動支援・連携促進事業（環境省補助事業）

地域で活動するNPO法人等と共同で、地球温暖化防止活動事業を実施することにより、CO₂の排出抑制及び地域の活性化を図るため、「中小企業の省エネ点検・改善提案及び支援事業」を実施した。

① コンソーシアム会議の開催等

- ・ 開催回数：年2回（12月、2月）
- ・ 開催内容：事業内容及び実施状況の説明、実施結果の報告等

② 省エネ点検・改善提案事業及び改善支援事業の実施

<省エネ点検・改善提案>

- ・ 実施事業者数 10事業者（県内中小企業）
- ・ 内 容 エネルギー使用実績、使用量の見える化の実施、現地診断、省エネ点検・改善提案の実施等

<改善支援>

- ・ 実施事業者数 5事業者（県内中小企業）
- ・ 内 容 従業員研修の開催、エコドライブの実践等

③ 全体講習会の開催

- ・ 開催日 平成27年2月13日（金）
- ・ 開催場所 パレブラン高志会館 カルチャーホール
- ・ 参加者 約100名（EA21認証・登録事業者等）
- ・ 内 容 省エネに関する講演、事業実施結果の報告

(5) 地球温暖化防止活動促進事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

富山県から指定を受けている「富山県地球温暖化防止活動推進センター」としての基盤強化を図るため、地球温暖化防止に関する情報の集積や地球温暖化防止に資する人材育成等の事業を行った。

(6) うちエコ診断事業（(一社)地球温暖化防止全国ネット補助事業）

富山県うちエコ診断実施機関（とやま環境財団）に登録しているうちエコ診断士を、各家庭等へ派遣して状況に応じた有効な省エネ対策及び費用対効果等を提案した。

- ・ 実施機関認定期間 平成26年6月5日～平成28年3月31日
- ・ 登録しているうちエコ診断士数 15名
- ・ 診断件数 30件

(7) 住宅用太陽光発電システム導入促進補助事業

家庭における温室効果ガス削減の取組みとして、住宅用太陽光発電システムの普及を図るため、平成25年度J-PEC補助金交付決定分を対象に、県補助金申請の受付及び審査、補助金交付等の手続きを行った。

- ・ 申請受付件数 660件（当初計画660件）
- ・ 補助金額 1件あたり50千円

(8) 環境保全に関する相談事業（再掲）

環境保全相談室を設置し、環境保全活動・環境教育の具体的な行動を促すため、地球温暖化対策等に関する相談に応じた。

5. エコアクション21 地域事務局事業

(1) エコアクション21 制度の普及啓発

セミナーや事業者交流会の開催、企業・団体等への働きかけを行うとともに、ホームページ、メールマガジン等への掲載により、エコアクション21 制度の普及啓発を図った。

① エコアクション21 第6回富山県事業者交流会の開催

- ・ 開催日 平成27年2月13日（金）
- ・ 開催場所 パレブラン高志会館 カルチャーホール
- ・ 参加者 EA21 認証取得事業者、認証取得取組み事業者等 約100名
- ・ 内容 エコアクション21 富山県環境レポート大賞の表彰、事例発表、パネルディスカッション

② 環境マネジメントセミナーの開催

- ・ 主催 富山県立大学（とやま環境財団共催）
- ・ 開催日 平成27年3月13日（金）
- ・ 開催場所 富山県立大学
- ・ 内容 エコアクション21 の概要、事例発表、個人面談

(2) エコアクション21 認証・登録事業（収益事業）

事業者からの審査申込の受付、審査人の紹介・斡旋、審査報告書の受付、認証・登録の可否を審査する判定委員会の開催、認証・登録等に関する中央事務局への報告等を行った。

- ・ 認定・登録事業者数 100社（平成27年3月末現在）

(3) エコアクション21 普及プログラムの推進

富山県と共催でエコアクション21 自治体イニシアティブ・プログラム及び関係企業グリーン化プログラムを実施し、認証取得を推進した。

① 自治体イニシアティブ・プログラムの実施

- ・ 実施期間 平成26年9月～27年2月
- ・ 開催回数 7回（事前セミナー1回、講習会6回）
- ・ 参加者 エコアクション21 認証取得予定者 8社
- ・ 内容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

② 関係企業グリーン化プログラムの実施

- ・ 実施期間 平成26年11月～27年2月
- ・ 参加者 エコアクション21 認証取得予定者 1社
- ・ 内容 ガイドラインの説明、認証取得に向けての指導講習

6. 運営体制強化事業

当財団の事業、特に地球温暖化防止活動推進センター事業について現状及び課題を整理し、「意識啓発」から「協働・実践」へと効果的・効率的な事業展開を図るため、次の事業を行った。

- ・ 財団の事業を効率的に実施するため、コアとなる職員を確保、養成
- ・ 財団の財政基盤強化のため、国庫補助金、民間助成制度等の活用
- ・ NPO法人や企業による環境保全活動の活性化、定着化を図り、財団と協働した事業展開を図るための方策の検討

(参考資料1)

1 後援・協賛事業 (24 件)

区分	名称	開催年月日	場所	主催
1	第22回富山県ナチュラルリスト南砺市福光大会	H26. 4. 13	南砺市福光行政センター等	・富山県ナチュラルリスト団体連絡会 ・南砺市ナチュラルリスト連絡会
2	アースデイとやま 2014	H26. 5. 18	富山市ファミリーパーク	アースデイとやま 2014 実行委員会
3	第10回砺波市民ごみゼロ運動	①H26. 4. 6 ②H26. 5. 25	①旧砺波市内及び種田地区 ②種田地区を除く旧庄川町内	砺波市環境美化対策委員会・砺波市
4	水みらいプロジェクト 2014			水みらいプロジェクト実行委員会
5	平成26年度自然を愛する人のための樹戯夢(じゅげむ)自然塾	H26. 4. 27 ~ H26. 12. 7	富山県(縄ガ池、利賀村、立山、吉峰、洞杉他)、岐阜県(白木峰)	NPO法人森林総合支援センター
6	アクアソーシャルフェス!!2014 富山湾の豊かな自然を未来に残そう!	H26. 6. 1	氷見市島尾海岸	北日本新聞社東京支社
7	漂着物アート展 2014	H26. 5. 31~ H26. 6. 23	氷見市海浜植物園 1F 特設ギャラリー	公益財団法人環日本海環境協力センター
8	平成26年度 初夏の自然観察会	H26. 6. 1	中新川郡立山町芦嶽寺ブナ坂 「美女平地内」	富山県ナチュラルリスト協会
9	平成26年度「みんなの消費生活展」	H26. 7. 19	富山市民プラザ	みんなの消費生活展実行委員会
10	けんせいきょう祭り 2014	H26. 10. 11、 12	富山産業展示館 (テクノホール)	富山県生活協同組合
11	アクアソーシャルフェス!!2014 富山湾の豊かな自然を未来に残そう!	H26. 8. 24	魚津市経田海岸	北日本新聞社東京支社
12	第59回富山県環境保健衛生大会	H26. 11. 8	新川文化ホール	・富山県環境保健衛生連合会 ・魚津市環境保健衛生協会
13	第9回射水市環境とくらしフェア	H26. 10. 5	射水市ミライエ館	射水市環境とくらしフェア実行委員会

14	平成 26 年度 秋の自然観察会	H26. 9. 28	眼目山立山寺周辺	富山県ナチュラリスト協会
15	富山湾・世界で最も美しい湾クラブ加盟記念「富山湾 100 万人による海岸をきれいにする活動・市民の集い」	H26. 10. 25	富山市エコタウン交流推進センター 1 階学習室	富山湾海岸をきれいにする活動の会
16	「平成 26 年度富山県立大学産学官連携環境シンポジウム」	H26. 12. 12	富山国際会議場 3 階メインホール	富山県立大学
17	平成 26 年度 自然体験活動指導者養成講座 in 立山	H26. 11. 29	旧立山芦峯小学校	NPO 法人きんたろう倶楽部
18	「カーボン・オフセットで進める北陸の自然エネルギーと森林保全～新しい地域・環境貢献 (CSR 活動) を学ぶ～」	H27. 1. 27	サンシップとやま	北陸カーボン・オフセット推進ネットワーク
19	「～宇奈月温泉地域地熱開発理解促進事業成果報告会～『地熱活用を考えよう!』」	H27. 2. 21	黒部市宇奈月国際会館セレネ 3 階 小ホール	宇奈月温泉地域地熱開発促進コンソーシアム
20	平成 26 年度 冬の自然観察会	H27. 2. 22	吉峰グリーンパーク周辺 (立山町)	富山県ナチュラリスト協会
21	富山国際大学現代社会学部公開シンポジウム「環境から見る富山の中山間地の未来づくり」	H27. 2. 15	ゴルフアートとやま 4 階「琥水の間」	富山国際大学現代社会学部
22	冬の「ひみ里山」を満喫!!	H27. 2. 14	氷見市内	ひみ里山杉活用協議会
23	「新エネルギーフォーラム 2015」	H27. 3. 1	南砺市役所城端行政センター 3 階ホール	富山県小水力利用推進協議会
24	「環境マネジメントセミナー」	H27. 3. 13	富山県立大学合同棟 3 階 A307 講義室	富山県立大学

(参考資料2)

1 会議の開催状況

(1) 理事会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
H26. 6. 9	第6回理事会	富山県農協会館 802号室	理事 9名 監事 1名	・平成25年度事業報告及び収支決算について ・定時評議員会の招集について ・常勤の理事に対する報酬等の額を定める件について
H26. 12. 12	第7回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・評議員会の開催の議決の件について 評議員会の議決事項 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正
H27. 1. 23	第8回理事会	(書面)	理事 13名 監事 2名	・常勤の理事に対する報酬等の額を変更する件について 平成26年12月支給分の変更
H27. 3. 17	第9回理事会	カンシップ とやま 601号室	理事 7名 監事 2名	・平成26年度事業報告(見込み)について ・平成26年度収支予算の補正(案)について ・平成27年度事業計画(案)について ・平成27年度収支予算(案)について ・平成27年度資金運用方針(案)について

(2) 評議員会

開催日	名称	開催場所	出席者数	議題等
H26. 4. 8	第3回評議員会	(書面)	評議員 5名	・役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 地域手当の追加 ・評議員の選任について 小野 洋→熊谷和哉 ・理事の選任について 林 俊信→村椿 晃 伊藤孝邦→山瀬洋明 ・監事の選任について 天坂幸治→島崎慎一
H26. 6. 30	第4回評議員会	富山県森林水産会館 12号室	評議員 4名 監事 1名	・平成25年度事業報告及び収支決算について

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
H26. 12. 22	第5回 評議員会	(書面)	評議員 6名	役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部 改正について 賞与の算定式を改める

(3) 県土美化推進県民会議及び環境とやま県民会議

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
H26. 4. 22	県土美化推 進県民会議 総会	サンシップ とやま福祉 ホール	85名	<ul style="list-style-type: none"> ・県土美化推進功労者の表彰 ・平成25年度県土美化推進運動の実施報告 ・平成26年度県土美化推進運動実施要領の承認
H26. 6. 5	環境とやま 県民会議 第1回幹事会	(書面)	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度事業報告 ・平成26年度事業計画(案) ・平成26年度環境とやま県民会議総会等の開催
H26. 6. 22	環境とやま 県民会議 総会	グラント プラザ	300名	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県環境部門功労表彰 ・環境月間ポスターコンクール入賞者表彰 ・環境とやま県民会議・活動方針報告 ・「とやまエコ・ストア制度」統一シンボルマークキャラクター愛称発表・表彰
H26. 9. 12	環境とやま 県民会議 第2回幹事会	サンシップ とやま501 号室	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度富山県ごみゼロ推進県民大会の実施要領 ・環境とやま県民会議会長表彰実施要領等の改正 ・平成26年度環境とやま県民会議会長表彰(ごみゼロ・リサイクルの推進に該当する活動)受賞者の選考 ・平成26年度環境とやま県民会議総会及びエコライフ・アクト大会の開催報告 ・「とやま環境フェア2014」の開催
H26. 10. 4	富山県ごみ ゼロ推進県 民大会	富山県産業 創造センター(高岡テ クノドーム)	約150名	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県環境部門功労表彰 ・環境とやま県民会議会長表彰 ・とやまエコ・ストア連絡協議会会長表彰 ・平成26年度ごみゼロ推進大運動実施状況報告
H26. 11. 13	環境とやま 県民会議 第3回幹事会	(書面)	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度富山県地球温暖化防止県民大会実施要領 ・平成26年度環境とやま県民会議会長表彰(地球温暖化防止の推進に該当する活動)受賞者の選考 ・とやま環境フェア2014及び富山県ごみゼロ推進県民大会の開催報告

開催日	名 称	開催場所	出席者数	議 題 等
H26. 12. 6	富山県地球 温暖化防止 県民大会	パレブラン 高志会館 カルチャー ホール	約 160 名	<ul style="list-style-type: none"> ・環境とやま県民会議会長表彰 ・とやまストップ温暖化アクト賞表彰 ・優秀活動事例発表 ・講演 「とやまの地球温暖化」 ・地球温暖化防止イベント 「地球温暖化 母心相談所」
H27. 3. 10	県土美化推 進県民会議 幹事会	サンシッ プとやま 704 号室	15 名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度県土美化推進運動の実施状況 ・平成 27 年度県土美化推進運動実施要領(案) ・平成 27 年度県土美化推進功労会長表彰受賞者の選考 ・県土美化推進功労会長表彰審査基準の改正 ・平成 27 年度県土美化推進県民会議総会の開催(案)

2 基本財産等の状況

(1) 基本財産

(単位；千円)

区 分	25 年度末 受領額	26 年度増減額	26 年度末 受領額
県	200,000	0	200,000
市町村	100,000	0	100,000
民 間	284,900	0	284,900
計	584,900	0	584,900

(2) 環境保全活動推進基金

(単位；千円)

区 分	25 年度末 受領額	26 年度増減額	26 年度末 受領額
民 間	46,530	0	46,530

(3) 賛助会員

区 分	会 員 数	賛助会費額	備 考
個 人	297 名	364 千円	2,000 円／人
法人・団体	362 団体	6,958 千円	10,000 円／口
計	個人・団体	7,322 千円	

〔 個 人 110 名増
法人・団体 1 団体減 〕